

1994.7.16▶9.25
和歌川マリーナシティ(主会場)



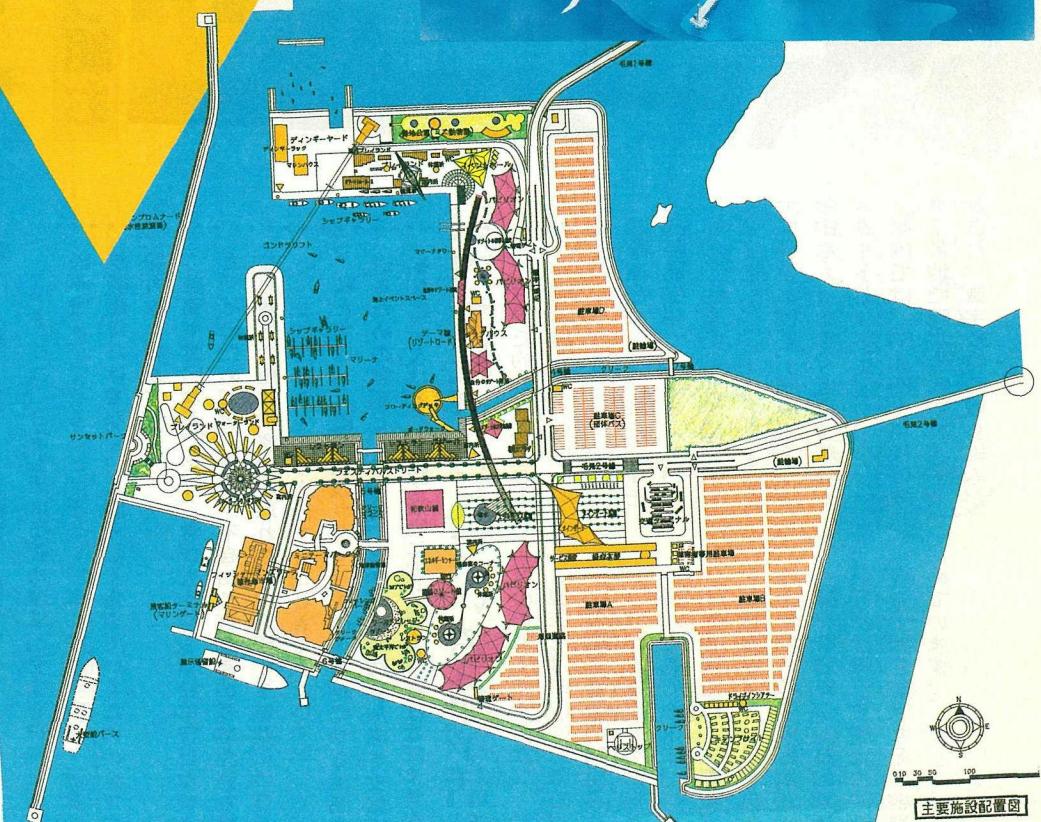
21世紀の リゾートとの出会い

世界リゾート博
第2次実施計画決定

新しい時代のリゾートと出会えるとき、「世界リゾート博」。自然と文化に恵まれた和歌山県を、「こころの豊かさ」を創造できる国際的なリゾート地として、日本全国へ、世界へアピールするこの大イベントの第2次実施計画が決定しました。

これは、既に今年6月号の「県民の友」でご紹介した概要をより具体化したもので、主会場となる和歌山マリーナシティの会場デザインや各ゾーンの主要施設計画のほか、夢いっぱいのイベント計画も盛り込んでいます。

来年7月には、オープニングイベントを、その後県内各地で地域の特性を生かしたリレーイベントを順次開催し、平成6年・夏の主会場開幕に向けハードを盛りあげていく予定です。



「ワーワー（運河）」に面した「南太平洋ビレッジ（村）」を中心としたワールドビレッジや、世界中の有名ワード地の味覚やショッピングも楽しめる「国際ワード館」などエキゾチックな雰囲気に入れます。



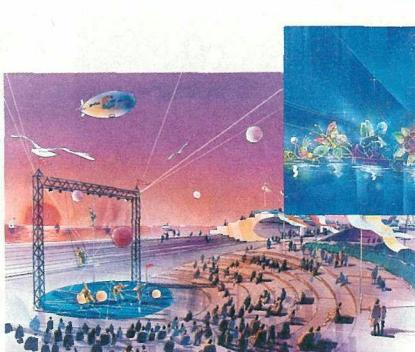
（マリーナゾーン）
美しいコートや多彩な海上イベ
ントなど、マリーナの景観を利用
したマリンコンゾーンを満喫できる
ゾーン。
最新のソーラーライフグッズを
集めたショールーム、マリーナの
風景を楽しめるレストランやバザ
ールのほか、会場の東西軸ともな
るフェスティバル・ストリートで
は、自由に参加できる海外ソーラ
ー地の華やかなパレードも繰り広
げられます。

テーマパークは、地中海の漁村をイメージした風景で、ロマンチックな街並みを再現。ファーストフード店やミニショッピングモールも立並ぶ複合型のレジャー施設を計画している。

新鮮な海の幸がいっぱいのフィッシュシーフード（観光魚市場）などもリゾート気分を盛り上げます。



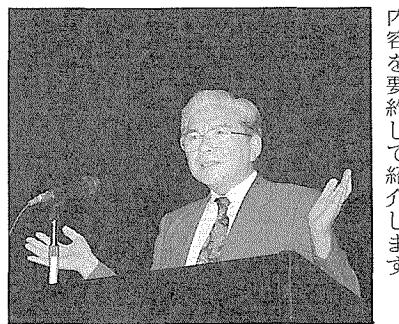
A vibrant, colorful concept rendering of a coastal resort area. The scene features a large, modern building with a glass facade and a prominent arched entrance on the left. In the center, a large, spherical geodesic dome structure sits atop a low wall. To the right, a beach is visible with several small wooden rafts and people relaxing under umbrellas. The water is a clear blue, dotted with small boats and a seagull in flight. In the background, palm trees and a bright sky with two hot air balloons (one orange, one pink) complete the idyllic setting.



(オーシャンゾーン)
会場の最先端・親水性防波堤を利用したオーシャンゾーンは、和歌浦の美しい風景と風波

識字問題を考える県民の集い開催

九月五日、高野口町の産業文化会館で「識字問題を考える県民の集い」が開催されました。これは県民のみなさんに識字問題と識字教育の意義を正しく理解してもらおうと平成2年から開かれているもので、今年で三回目。大阪大学人間科学部の元木健教授による「識字問題と識字教育の課題」についての講演の後、人権啓発映画のシナリオなどを書かれ活躍中の丘乃れいさん作の一人芝居「かつぎ屋の歌」を俳優の重久剛一(写真)さんが演じ、人権の大切さを参加者に訴えました。



元木健教授(写真)の講演の内容を要約して紹介します。

(識字とは……)

世界の識字活動の中心となつてゐる国際連合の専門機関・ユネスコ(国連教育科学文化機関)では、定期的にその加盟国の国民を対象に、識字能力の調査を行っています。識字能力の基準となつてゐるのが「日常生活の中で短い簡単な文章の読み書きができる」ということで、この基準では、現在、世界の十五歳以上の男女の二十九パーセン

お手紙どうもありがとうございます。
おばさんたちの一年生の時は、みんなが学校へ行つていて、わたしも学校へ行きたかったけれども、家がとつてもまずくて、小学校一年生の時、よそへもりぼうこうに行かれてとつてもつらい思いをしました。もりぼうこうに行くことは、家ぞくが一人へ行って、食べるのもたすかるからといって、よそのうちに行かされるのです。

世界の識字活動の中心となつてゐる国際連合の専門機関・ユネスコ(国連教育科学文化機関)では、定期的にその加盟国の国民を対象に、識字能力の調査を行っています。識字能力の基準となつてゐるのが「日常生活の中で短い簡単な文章の読み書きができる」ということで、この基準では、現在、世界の十五歳以上の男女の二十九パーセン

ある識字学級生から小学生への便り

ません。でも家にかえつても、食べることはできなくて、じつとそこで一年間がまんをしました。それからまたうどんやにはうこうに行きました。その時、字は読めなくともいいけど、お金のかんじようだけはできなくてはといつて、そろばんをしごとがおわった夜の10時から11時までおしゃべりをしました。その後、戦そうちはじまり、字を知らないままにすごしてしまいました。それで自分で書いて、食べるのもたすかるからといって、よそのうちに行かされるのです。

お手紙どうもありがとうございます。
おばさんたちの一年生の時は、みんなが学校へ行つていて、わたしも学校へ行きたかったけれども、家がとつてもまずくて、小学校一年生の時、よそへもりぼうこうに行かれてとつてもつらい思いをしました。もりぼうこうにいくことは、家ぞくが一人へ行って、食べるのもたすかるからといって、よそのうちに行かされるのです。

世界の識字活動の中心となつてゐる国際連合の専門機関・ユネスコ(国連教育科学文化機関)では、定期的にその加盟国の国民を対象に、識字能力の調査を行っています。識字能力の基準となつてゐるのが「日常生活の中で短い簡単な文章の読み書きができる」ということで、この基準では、現在、世界の十五歳以上の男女の二十九パーセン

ト、約九億六千万人が読み書きに不自由しています。

ところで、この数字も、日常生活のもっと基本的なところ、自分の名前が書けるかどうかというレベルなら、もっと少なくなると考えられます。また、国、社会によつても、それぞれ識字問題は事情が違いますし、急速に社会が進展する中では、たとえば、コンピューターを使えるかどうかもコンピューター識字を考えられます。

このように識字というのは、何を基準とするかによつても非常に違うので、それぞれの社会の、それぞれの時点で識字能力をどう充足するかということが識字問題だと理解する必要があると思います。

この講演に先立ち、ある識字朗読されました。その内容を紹介します。

お手紙どうもありがとうございます。
おばさんたちの一年生の時は、みんなが学校へ行つていて、わたしも学校へ行きたかったけれども、家がとつてもまずくて、小学校一年生の時、よそへもりぼうこうに行かれてとつてもつらい思いをしました。もりぼうこうにいくことは、家ぞくが一人へ行って、食べるのもたすかるからといって、よそのうちに行かされるのです。

お手紙どうもありがとうございます。
おばさんたちの一年生の時は、みんなが学校へ行つていて、わたしも学校へ行きたかったけれども、家がとつてもまずくて、小学校一年生の時、よそへもりぼうこうに行かれてとつてもつらい思いをしました。もりぼうこうにいくことは、家ぞくが一人へ行って、食べるのもたすかるからといって、よそのうちに行かされるのです。

日本の識字問題

明治以後、日本の教育は急速に普及し、大正・昭和になるとすべての子どもが学校へ通うようになつたとされ、日本では識字問題は解決済みと考えられていました。

しかし、実際には日本にも、人々が思つてゐる以上に文字の読み書きに不自由している方がいます。

一九五五年(昭和30年)に、文部省が実施した調査では、当時の十五歳~二十四歳の青年の中に約一割の方が文字の読み書きに困つてゐるであろうという結果が出ています。その後、日本では正式な調査が全く行われていませんが、この結果から判断されています。

国际識字年を契機に、奪われた識字を取り戻す活動に対応して識字教育の施設も増えていました。また、識字活動を支援する組織もネットワークとしてできています。

このことは、本来保障されるはずの「教育を受ける権利」

この連載は、県同和委員会が毎年募集する同和運動啓発作文の入選作品を掲載しています。

この連載は、県同和委員会が毎年募集する同和運動啓発作文の入選作品を掲載しています。
子供たちがそれぞれの生活の中で素直な目で見つめた「人権」へのまなざし。
私たち大人への呼びかけです。

僕の思うこと

本宮町 三里中学校 一年 松本和旭

二の間、テレビで、尼崎高校に合格しているのに、筋ジストロフィーの障害を持ついると

玉置君が、高校に入るため努力してきましたのに、どうして入学させてあげられないのか、僕は不思議に思いました。他にも、玉置君のニュースを見ました。高校の設備が整っていないという理由だけで、入学を拒まれることがあつていいのだろうか。玉置君が、高校に入るため努力してきましたのに、どうして入学させ

て、

玉置君が、高校に入る

てみよ アいろいじ

人のために、社会のために、そして自分自身を生き生きとさせるためにも…。今、県内各地では、多種多様なボランティア活動が行われています。ボランティアとは本来自発的なもの。人から強制されるのではなく、自分が得意とすること、興味があることなど、でできる範囲の時間と内容で活動すればいいのです。

物質的には豊かになつた現代社会。でも核家族化、高齢化、環境問題などに直面し、地域の人々の支え合い、助け合いなど心の豊かさが求められる時代となつています。



入校生たちの明るさにとまどいがちだったお年寄りも、すっかりうちとけて、レクリエーションの時間には、みんなでいっ

しょにはしゃいでいました。
「最初は不安があったけど、寮母さんに助けてもらって、楽しくやっています。同じ考え方を持った人たちが参加しているので、友達もできました」との感想は特別養護老人ホーム「喜成会」へ来ていた高校生。

心のふれあいと助け合いの精神は、ここでもはぐくまれています。



冬期も含めて年中月2回くらいは訪問したいことがあります。

「自分が健康な時に少しでも人のためになれば…」とがんばっています。

連絡先 御坊市社会福祉協議会
☎ (0738) 22-5490

手づくりの温かさを子どもたちに 「しらとりおもちゃばこ」



子どもたちにとって、「あそび」はとっても大切。その「あそび」をより楽しく、豊かにするもの一つにおもちゃがあります。

手づくりのおもちゃを子どもたちにと、平成2年11月に白浜町しらとり保育園に開設された「しらとりおもちゃばこ」。

ボランティアの方が布、紙、木やいろんな不用品を使い、工夫を凝らしながらおもちゃを作っています。

手づくりの会は毎月1~2回。おもちゃばこの開設日は、毎月第2水曜日(午前9時30分~11時)、第3水曜日(午後2時~4時)で、おもちゃの貸し出しも行っています。

毎回、おもちゃばこでは、思いおもいのおもちゃで遊ぶ地域の子どもたちで賑わっていること。現在会員は37人、交替で対応しています。

「自分の作ったおもちゃを、子どもたちがどうやって遊ぶのか、とても楽しみです。子どもに高望みをするようなおもちゃではなく、のびのびと遊べるものが多いようです。それと、荒っぽい扱いをしてもいいようにじょうぶに作っておくことも大切です」とのことです。

連絡先 白浜町社会福祉協議会
☎ (0739) 43-5566



趣味を生かして活動を 「布のハーモニー」



昭和61年5月に県のボランティア・サロンが開設されたのに伴い組織された「布のハーモニー」。

野外で創造力、観察力を身につけよう 「野上町レクリエーションクラブ」

コンピューターゲームなどに夢中になって、家にこもりがちな現代っ子。

そんな子どもたちに、野外活動の良さを知ってもらおうと、キャンプ指導を行っているのが「野上町レクリエーションクラブ」です。

キャンプ指導のほか、毎年5月にはジュニアリーダーの養成を目的としたゲーム指導やウォークラリー大会を行い、夏まつりには、子どもたちが遊ぶことできるコーナーを設けるなど、様々な活動を行っています。

「この会は青年団の延長のようなもの。地元青年団や中学生、高校生のジュニアリーダーとも結びつきながら、活動しています。新しいゲームを考えたり、とにかく子どもたちといっしょに楽しんでいます。チームワークの良さが自慢」だそうです。

会員は男13人、女7人の合計20人。昭和54年から活動しています。今後の抱負は、障害児者や老人のレクリエーション活動など地域福祉にも参加していきたいとのことです。

手づくりの品でバザーを開き、施設やNHK歳末助け合いなどへ寄付をしたり、定期的に施設を訪問したり、そのほか、環境美化など幅広く活動しています。

会員数46人。20歳代から70歳代の主婦の方と年齢層も幅広いようです。

より良い作品を作るために、毎月数回手芸教室を開催し、熱心に勉強していること。

「この活動を始めてから、初めて知ったことがたいへん多いです。それに、障害のある方に気軽に声をかけることができるようになりました」とか「自分自身が磨かれた感じがします。友人もたくさんできました」というような感想が聞かれました。

連絡先 和歌山市社会福祉協議会
☎ (0734) 31-5249



連絡先 野上町社会福祉協議会
☎ (0734) 89-2430

心のメッセージ伝えます 「ピノキオ」



かわいい人形が飛びまわる姿を、子どもたちが食い入るように見つめています。

人形劇を演じているのは、新宮市を中心に活動しているボランティアサークル「ピノキオ」。

現在会員は7人で、それぞれ別々の保育園の保母さんたちです。

活動は、児童館や養護施設などで年数回行っている

とのこと。

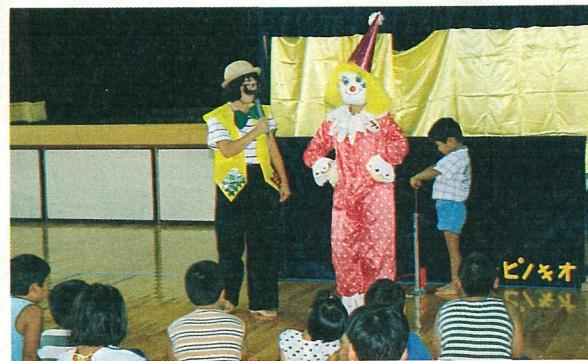
「なるべく週1回は集まって練習するようにしていますが、みんな仕事をしているのでなかなか時間がとれないのが実情です。少しでも子どもたちに喜んでもらえるようにといろいろ意見を出しあって、みんなで考えている時も楽しいですよ」とリーダー。

人形劇だけでなく、会員の1人がピエロに扮して、子供たちを笑わせたりとけっこうバラエティーに富んでいます。

人形劇に興味のある会員募集中のこと。会のモットーは明るく、楽しく。これからも息長く、地道に活動を続けたいということです。

連絡先 新宮市社会福祉協議会

☎ (0735) 21-2760



広がるコミュニケーション

手話サークル「ありんこ」

有田郡湯浅町の手話サークル「ありんこ」。入会のきっかけは、「電車で耳の不自由な子どもたちが、手話で楽しそうに会話をしているのを見て、自分も仲間に入りたくなった」、「テレビで手話を見て覚えたくなった」などが多いようです。

現在会員数35人。主婦、自営業、公務員、高校生、小学生と幅広い顔ぶれとなっています。



結成は昭和54年。月1回手話の勉強会をするとともに、「ふれあいの集い」などで模擬店を出したり、手話コーラスをしたりと障害者とのふれあいを大切にしていることです。

「手話が通じた時は本当にうれしいですね。世界が広がったような気がします。友達も増えました」と会員の1人。

「とにかく、いろんな問題をいっしょに考え、いっしょに勉強するサークル。和気あいあいとやっています。これからは、活動地域を広げていきたいですね」と意欲的。

連絡先 湯浅町社会福祉協議会

☎ (0737) 63-5175



普が完成した時は、一つのものを創りあげた満足感が得られます」などの感想が多いようです。

今は現状の活動で精一杯なので、会員を増員し、活動を広めていきたいとのことです。

連絡先 和歌山市社会福祉協議会

☎ (0734) 31-5249



私たちの声を聞いてください 「グループ声」

朗読のボランティア活動を目的に昭和45年に結成された「グループ声」。賛助会員を含めて81人と大所帯でほとんどが主婦の方です。

県、市の広報紙や新聞のコラムなどの録音テープの製作や盲学校などから依頼された本のテープの製作、盲人協会のお手伝いなどをしています。

言語の明瞭さ、読み方、読みの速さなど録音には気を使うことが多い、かなり時間がかかるそうです。

会員を8つのグループに分け、市の点字図書室などを拠点としてほぼ毎日活動しているとのこと。

入会のきっかけは、本を読むのが好きで始めたという方が多いようですが、「これを始めてから社会とのつながりを実感できるようになりました」とか「テー

何から始める ボランティア

サークルをいくつか紹介します。このほかにも県内で活躍しているグループは三百以上あります。紙面の都合で紹介できないのが残念です。

何かを始めたいと思つている方、一步踏み出してみませんか。肩の力を抜いて、マイペースで…。

一人ひとりの温かい気持ちが仲間の輪に広がり、やがては住みやすい地域づくりへと発展していくのではないかでしょうか。

施設で体験、助け合いの精神

ボランティアスクール



県では毎年、勤労青年、大学生、高校生、中学生を対象に社会福祉施設での体験学習を中心としたサマー・ボランティアスクールを開講しています。

今年も、県下19の施設で、社会福祉への理解と関心を深めてもらおうと行いました。

内容は、施設での食事介助、入浴介助、離床介助、レクリエーションなど。

気持ちよく入浴サービス

「入浴ボランティア」

御坊市社会福祉協議会が入浴車を整備したのをきっかけに、昭和59年に結成された「入浴ボランティア」。25人が交替で、在宅の体が不自由な寝たきりの人を入浴車で個別訪問し、入浴介助を行っています。

「けっこう力が必要なので、夏の暑い日とかは大変です。でも、入浴した時の気持ち良さそうな顔を見れば、やっていてよかったです」と会員の1人は話してくれました。

入浴前には、入浴する人の体調を確認することが必要。元看護婦の方もボランティアで参加し、事前、事後に血圧を計るなど気を使っています。

今のところ、温暖期に月1回の訪問を行っているが、

おしらせ



「県展」応募作品

〒640 和歌山市小松原通1-1 ☎(0734)32-4111

部門	生花、日本画、洋画、書、写真、工芸、彫塑
資格	県内に在住か本籍を置く方、または通勤通学をしている方（中学生以下を除く）
出品料	一点につき1,540円
搬入	〔10月28日〕新宮地域職業訓練センター、串本町文化センター、田辺市勤労青少年ホーム（いずれも貨物輸送用に梱包したものに限る）
〔10月31日、11月1日〕県立近代美術館	〔10月31日、11月1日〕県立近代美術館へ必着。
※送付の場合は作品、出品料、出品申込票（県立近代美術館、各地方教育事務所で配布）を一括して10月30日までに近代美術館へ必着。	〔0734〕36-113331へ

申込先 〒643 有田郡湯浅町湯浅
1055-1 有田県事務所 ☎(0737)63-4111か ☎644
11月24日 和歌山ターミナル
11月25日 和歌山市文化会館（田辺市）

1	申込先 ☎(0738)22-3111 〔Dコース〕11月5日 50人 田辺駅前から由良あかつぎ園、由良みのり園、暖地園芸総合指導センター、御坊火力発電所
2	申込先 ☎(0738)22-1200 〔Eコース〕11月10日 50人 東牟婁総合庁舎から老人福祉施設みさき、財団法人グリーンピア南紀、古座町花き生産団地一人77円
3	申込先 ☎(0738)22-18551 〔Fコース〕11月10日 50人 ハガキに参加者（一枚に3名まで一枚限り）の氏名、年齢、代表者の住所、電話番号、希望コースを記入し、10月23日（金）（消印有効）までに各コースの申込先へ（申込多数の場合抽選）くわしくは各申込先へ
4	申込先 ☎(0734)23-19 〔Aコース〕11月12日 100人 伊都・那賀総合庁舎から御坊火力発電所、暖地園芸総合指導センター、湯浅町醤油工場一人500円
5	申込先 ☎(0734)23-19 〔Bコース〕11月13日 50人 伊都・那賀総合庁舎から御坊火力発電所、暖地園芸総合指導センター、湯浅町醤油工場一人500円

6	申込先 ☎(0736)34-11700 〔Cコース〕11月5日 50人 日高総合庁舎、広川町新広橋電話、安蹄橋北詰から植物公園緑花センター、赤十字血液センター、漆器試験場一人300円
7	申込先 ☎(0738)22-3111 〔Dコース〕11月5日 50人 田辺駅前から由良あかつぎ園、由良みのり園、暖地園芸総合指導センター、御坊火力発電所
8	申込先 ☎(0738)22-1200 〔Eコース〕11月10日 50人 東牟婁総合庁舎から老人福祉施設みさき、財団法人グリーンピア南紀、古座町花き生産団地一人77円
9	申込先 ☎(0738)22-18551 〔Fコース〕11月10日 50人 ハガキに参加者（一枚に3名まで一枚限り）の氏名、年齢、代表者の住所、電話番号、希望コースを記入し、10月23日（金）（消印有効）までに各コースの申込先へ（申込多数の場合抽選）くわしくは各申込先へ

10月30日 橋本商工会館（橋本市）	11月24日 和歌山ターミナル ホテル（和歌山市）
11月25日 和歌山ターミナル ホテル（和歌山市）	11月25日 和歌山ターミナル ホテル（和歌山市）
11月26日 和歌山ターミナル ホテル（和歌山市）	11月26日 和歌山ターミナル ホテル（和歌山市）
11月27日 和歌山ターミナル ホテル（和歌山市）	11月27日 和歌山ターミナル ホテル（和歌山市）
11月28日 和歌山ターミナル ホテル（和歌山市）	11月28日 和歌山ターミナル ホテル（和歌山市）

11月14日 子どもわくわくフエスティバル	11月15日 きのくにまなびび
11月16日 粉河町公民館 午後4時～講演子でCDコンサート	11月16日 粉河町公民館 午後4時～講演「ふれあいを求めて」
11月17日 岩出町公民館 午前10時～子供対策課内世界エイズデーと歌山実行委員会へ	11月17日 岩出町公民館 午前10時～講演「人権問題を考える集い」
11月18日 那賀町総合センター 午前10時～「おもひでぽろぼ	11月18日 那賀町総合センター 午前10時～講演「田山応挙について」
11月19日 粉河町長田小学校 午後1時～豊年祭り（民芸品・工作教室、子ども映画劇場「おもひでぽろぼ	11月19日 粉河町長田小学校 午後1時～講演「田山応挙について」
11月20日 桃山町桃山会館 午前10時～子ども映画劇場「遠き落日」	11月20日 桃山町桃山会館 午前10時～講演「丹波の歴史民俗資料館」
11月21日 打田町公民館 午後2時～子ども映画劇場「遠き落日」	11月21日 打田町公民館 午後2時～子ども映画劇場「おもひでぽろぼ
11月22日 桃山町桃山会館 午前10時～子ども映画劇場「おもひでぽろぼ	11月22日 桃山町桃山会館 午前10時～講演「丹波の歴史民俗資料館」
11月23日 岩出町根来小学校 午後1時～子ども映画劇場「おもひでぽろぼ	11月23日 岩出町根来小学校 午後1時～講演「丹波の歴史民俗資料館」
11月24日 那賀町総合センター 午前10時～「おもひでぽろぼ」	11月24日 那賀町総合センター 午前10時～講演「丹波の歴史民俗資料館」
11月25日 粉河町公民館 午後4時～講演「栄養の話」	11月25日 粉河町公民館 午後4時～講演「栄養の話」

11月14日 子どもわくわくフエスティバル	11月15日 きのくにまなびび
11月16日 粉河町公民館 午後4時～講演子でCDコンサート	11月16日 粉河町公民館 午後4時～講演「ふれあいを求めて」
11月17日 岩出町公民館 午前10時～子供対策課内世界エイズデーと歌山実行委員会へ	11月17日 岩出町公民館 午前10時～講演「人権問題を考える集い」
11月18日 那賀町総合センター 午前10時～「おもひでぽろぼ」	11月18日 那賀町総合センター 午前10時～講演「田山応挙について」
11月19日 粉河町長田小学校 午後1時～豊年祭り（民芸品・工作教室、子ども映画劇場「おもひでぽろぼ」	11月19日 粉河町長田小学校 午後1時～講演「田山応挙について」
11月20日 桃山町桃山会館 午前10時～子ども映画劇場「おもひでぽろぼ」	11月20日 桃山町桃山会館 午前10時～講演「丹波の歴史民俗資料館」
11月21日 打田町公民館 午後2時～子ども映画劇場「遠き落日」	11月21日 打田町公民館 午後2時～子ども映画劇場「おもひでぽろぼ」
11月22日 桃山町桃山会館 午前10時～子ども映画劇場「遠き落日」	11月22日 桃山町桃山会館 午前10時～講演「丹波の歴史民俗資料館」
11月23日 岩出町根来小学校 午後1時～子ども映画劇場「遠き落日」	11月23日 岩出町根来小学校 午後1時～講演「丹波の歴史民俗資料館」
11月24日 那賀町総合センター 午前10時～「おもひでぽろぼ」	11月24日 那賀町総合センター 午前10時～講演「丹波の歴史民俗資料館」
11月25日 粉河町公民館 午後4時～講演「栄養の話」	11月25日 粉河町公民館 午後4時～講演「栄養の話」

11月14日 子どもわくわくフエスティバル	11月15日 きのくにまなびび
11月16日 粉河町公民館 午後4時～講演子でCDコンサート	11月16日 粉河町公民館 午後4時～講演「ふれあいを求めて」
11月17日 岩出町公民館 午前10時～子供対策課内世界エイズデーと歌山実行委員会へ	11月17日 岩出町公民館 午前10時～講演「人権問題を考える集い」
11月18日 那賀町総合センター 午前10時～「おもひでぽろぼ」	11月18日 那賀町総合センター 午前10時～講演「田山応挙について」
11月19日 粉河町長田小学校 午後1時～豊年祭り（民芸品・工作教室、子ども映画劇場「おもひでぽろぼ」	11月19日 粉河町長田小学校 午後1時～講演「田山応挙について」
11月20日 桃山町桃山会館 午前10時～子ども映画劇場「おもひでぽろぼ」	11月20日 桃山町桃山会館 午前10時～講演「丹波の歴史民俗資料館」
11月21日 打田町公民館 午後2時～子ども映画劇場「遠き落日」	11月21日 打田町公民館 午後2時～子ども映画劇場「おもひでぽろぼ」
11月22日 桃山町桃山会館 午前10時～子ども映画劇場「遠き落日」	11月22日 桃山町桃山会館 午前10時～講演「丹波の歴史民俗資料館」
11月23日 岩出町根来小学校 午後1時～子ども映画劇場「遠き落日」	11月23日 岩出町根来小学校 午後1時～講演「丹波の歴史民俗資料館」
11月24日 那賀町総合センター 午前10時～「おもひでぽろぼ」	11月24日 那賀町総合センター 午前10時～講演「丹波の歴史民俗資料館」
11月25日 粉河町公民館 午後4時～講演「栄養の話」	11月25日 粉河町公民館 午後4時～講演「栄養の話」

11月14日 子どもわくわくフエスティバル	11月15日 きのくにまなびび
11月16日 粉河町公民館 午後4時～講演子でCDコンサート	11月16日 粉河町公民館 午後4時～講演「ふれあいを求めて」
11月17日 岩出町公民館 午前10時～子供対策課内世界エイズデーと歌山実行委員会へ	11月17日 岩出町公民館 午前10時～講演「人権問題を考える集い」
11月18日 那賀町総合センター 午前10時～「おもひでぽろぼ」	11月18日 那賀町総合センター 午前10時～講演「田山応挙について」
11月19日 粉河町長田小学校 午後1時～豊年祭り（民芸品・工作教室、子ども映画劇場「おもひでぽろぼ」	11月19日 粉河町長田小学校 午後1時～講演「田山応挙について」
11月20日 桃山町桃山会館 午前10時～子ども映画劇場「おもひでぽろぼ」	11月20日 桃山町桃山会館 午前10時～講演「丹波の歴史民俗資料館」
11月21日 打田町公民館 午後2時～子ども映画劇場「遠き落日」	11月21日 打田町公民館 午後2時～子ども映画劇場「おもひでぽろぼ」
11月22日 桃山町桃山会館 午前10時～子ども映画劇場「遠き落日」	11月22日 桃山町桃山会館 午前10時～講演「丹波の歴史民俗資料館」
11月23日 岩出町根来小学校 午後1時～子ども映画劇場「遠き落日」	11月23日 岩出町根来小学校 午後1時～講演「丹波の歴史民俗資料館」
11月24日 那賀町総合センター 午前10時～「おもひでぽろぼ」	11月24日 那賀町総合センター 午前10時～講演「丹波の歴史民俗資料館」
11月25日 粉河町公民館 午後4時～講演「栄養の話」	11月25日 粉河町公民館 午後4時～講演「栄養の話」

ます。縦5・0cm×横5・0cm
↓縦4・5cm×横3・5cm
③申請書の様式も変わります。
現在の申請書は使えなくなります。
す。ご注意ください。

④手数料が変わります。
一般旅券の新規または切替発給
手数料が8,000円から10,000円になります。

くわしくは県庁国際交流課または各県事務所総務課（海草を

たは名県事務所総務課（海草を）</

おしらせ

県庁・県教育庁は

住 し

県民文化会館 ☎(0734)36-1331

第2回邦楽芸能講座—日本の芸能 10月10日 午後1時~ 小ホール 1,500円

紀南文化会館 ☎(0739)25-3033

文化講演会 五木寛之 10月17日 午後2時30分~ 大ホール 整理券

植物公園緑花センター ☎(0736)62-4029

秋の盆栽展 10月16日~18日
寒ラン展 10月24日~25日
生け花展 10月24日~26日
<秋の催し>
花き植木展、秋の原色押花展、洋ラン展、秋の山草展 11月1日~3日

お気軽にどうぞ

交通事故相談

〔常設相談〕月~金曜日

場所 県庁交通事故相談所、東牟婁県事務所

〔弁護士による相談〕●県庁交通事故相談所 每月第1、3月曜日 受付…午後1時~2時 ●東牟婁県事務所 每月第1、3金曜日 受付…正午まで

〔巡回相談〕●西牟婁県事務所 10月20日 ●伊都郡事務所 10月28日 ●日高県事務所 11月4日 受付…午後3時まで

県民相談

〔常設相談〕月~金曜日

場所 県庁県民相談室、各県事務所

〔弁護士による法律相談〕毎月第2、4金曜日 受付…午前9時~11時 場所 県庁県民相談室

〔移動相談〕●日高町社会福祉センター 11月17日 ●清水町町民会館 11月18日 受付…午後1時~3時30分

電波で結ぶあなたと県政

テレビ (テレビ和歌山)

きのくに'92 金曜日 午後10時~
ホットライン県政 (再) 日曜日 午前11時~
県政フラッシュ 金曜日 午後6時15分~
県民チャンネル 月~土 午後8時55分~
はばたく紀の国 土曜日 午後6時~

ラジオ (和歌山放送)

県民マイク 土曜日 午後2時30分~
県庁だより 月~日 午前11時40分~
(再) 月~金 午後5時40分~
(再) 土・日 午後6時~

定期便教育の窓 第2、4土曜日 午後2時15分~

文字放送 (テレモ西日本511#)

紀の国・和歌山情報 毎日午前6時~深夜0時

物価バス教室参加者
食料品や日用品などの生産・流通過程を、現地見学することにより、物価問題に関する理解と認識を深めいただきます。

Aコース 11月17日
県庁前(午前9時30分集合)からノーリング機械、県消費生活センター、花王㈱和歌山工場(県庁前にて午後4時解散予定)
Bコース 11月19日
県庁前(午前9時15分集合)から三笠コカ・コカラボトリング㈱和歌山工場、県植物公園緑花センター、花王㈱和歌山工場(県

厅前午後4時解散予定)
対象 県内在住の18歳以上の方
定員 各コースとも40人(申込多数の場合抽選)
参加費 無料(昼食は各自持参)
申込 10月23日までに往復ハガキ(一枚につき1人)に住所、番号、希望コースを記入し、「物価バス教室参加希望」と朱書きのうえ、県庁県民生活室へくわしくは申込先へ

構造転換能力開発訓練生
期間 1ヶ月
科目 自動車運転科(大型一種・大型特殊)
場所 県内の自動車教習所等
対象 特定不況業種事業所から

紀の国ねんさん祭り
日時 11月6日から12日の年金週間
にちなんで、年金制度の大切さを理解していただくため、「紀の国ねんさん祭り」を開催します。

ダメ。ゼッタイ。
一愛する自分を大切に
麻薬などには手を出さない
海外旅行などで、友人の誘いや好奇心から乱用への深みにつながるケースが増えています。

カイロプラクティック療法
を受ける方へ
11月6日から12日の年金週間にちなんで、年金制度の大切さを理解していただくため、「紀の国ねんさん祭り」を開催します。

「ハジマリ」の
健康相談
あわただしい日々の生活の中で、ストレスや不安など心の悩みを持つ人が増えています。県精神保健センターでは、「こころの電話」を開設しています。

高野口保健所 ☎(0736)41-0100 每月第1木曜日
岩出保健所 ☎(0736)63-0100 每月第1木曜日

の離職者など
定員 大型一種、大型特殊とも
5人
申込 平成5年2月28日までに各公共職業安定所へ(定員になります)次第締め切ります)

Bコース 11月17日
県庁前(午前9時30分集合)からノーリング機械、県消費生活

センター、花王㈱和歌山工場(県

厅前にて午後4時解散予定)

Bコース 11月19日
県庁前(午前9時15分集合)から三笠コカ・コカラボトリング

㈱和歌山工場、県植物公園緑花

センター、花王㈱和歌山工場(県

厅前午後4時解散予定)

対象 県内在住の18歳以上の方

定員 各コースとも40人(申込

多数の場合抽選)

参加費 無料(昼食は各自持参)

申込 10月23日までに往復ハガ

キ(一枚につき1人)に住所、番号、希望コースを記入し、「物

価バス教室参加希望」と朱書き

のうえ、県庁県民生活室へくわしくは申込先へ

構造転換能力開発訓練生
期間 1ヶ月
科目 自動車運転科(大型一種・

大型特殊)
場所 県内の自動車教習所等
対象 特定不況業種事業所から

重職業能力開発の促進、技能尊重運の高揚などを目的に開催します。
日時 10月17日~18日
場所 和歌山地域地場産業振興センター(和歌山市)
内容 優秀な技能者の表彰、現代の名工、技能士、高等技術専門生徒などの作品展示、実演、即売、アトラクションなど
角膜移植相談 和歌山赤十字病院
24-17130
肾移植推進協会 ☎(0734)

また、角膜移植や腎臓移植を希望される方は、お近くの眼科医や透析医療機関にて相談ください。専門の相談窓口も次のとおり開設されています。
角膜移植相談 和歌山赤十字病院
24-17130
肾移植推進協会 ☎(0734)

重職業能力開発の促進、技能尊重運の高揚などを目的に開催します。
日時 10月17日~18日
場所 和歌山地域地場産業振興センター(和歌山市)
内容 優秀な技能者の表彰、現代の名工、技能士、高等技術専門生徒などの作品展示、実演、即売、アトラクションなど
角膜移植相談 和歌山赤十字病院
24-17130
肾移植推進協会 ☎(0734)

重職業能力開発の促進、技能尊重運の高揚などを目的に開催します。
日時 10月17日~18日
場所 和歌山地域地場産業振興センター(和歌山市)
内容 優秀な技能者の表彰、現代の名工、技能士、高等技術専門生徒などの作品展示、実演、即売、アトラクションなど
角膜移植相談 和歌山赤十字病院
24-17130
肾移植推進協会 ☎(0734)

の離職者など
定員 大型一種、大型特殊とも
5人
申込 平成5年2月28日までに各公共職業安定所へ(定員になります)次第締め切ります)

くわしくは申込先、県立高等

技術専門校、県庁職業能力開発

課へ

くわしくは申込先へ

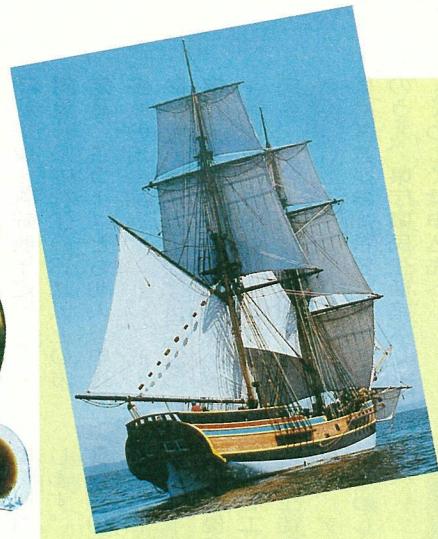
技術専門校、県立高等

美味、珍味。 私のおさかな料理は?



魚離れがみられる若い世代に県内の水産物に関心を持つてもうと、「高校生おさかな料理コンクール」を開催しました。「主婦も魚をおろせない」と言われる昨今、高校生がどこまでできるか興味深いところでしたが、アジ、サバ、イワシなどの魚を調理する姿は、なかなか板についたもので、見事な包丁さばきを披露していました。

参加二十一チーム、甲乙付け難く、審査時間が延長されるほど接戦でしたが、わずかの差で田辺商業高校の「ベッティーチャン」チームの「たちうおの磯辺ロール揚げ」が最優秀賞に輝きました。そのほかの作品も、いずれ劣らぬアイデア料理ばかり。味見をした審査員の方々は、満足そうに舌づみを打っていました。



二百年ぶりの来航を レイディ・ワシントン号

ペリーが黒船の艦隊を率いて浦賀に来航したのが日米修好の始まりとされていますが、それより62年前の1791年、2隻の帆船が串本町大島に来航していました。

ジョン・ケンドリック船長の率いる「レイディ・ワシントン号」と僚船「グレイス号」。1787年秋にアメリカ東海岸ボストンを出航し、バンクーバー、ハワイ、広東などの地で通商した後に日本へ来航したものです。

白浜・田辺青年会議所では、米国で復元されたこの歴史的な船、レイディ・ワシントン号を世界リゾート博のイベントとして、紀南の海へ招致する運動が高まりつつあります。

9月5日には、紀南文化会館で国際交流シンポジウムが行われ、歴史を明日に生きようと盛り上がっています。

(田辺市)



光と風を贈ります

世界リゾート博第1期 キャンペーンレディ決定

「ふるさと和歌山県の代表として、明るく、さわやかに、光と風を感じていただけるキャンペーンを展開して参ります」

決意の言葉のとおり、明るく、さわやかな「世界リゾート博」第1期キャンペーンレディが誕生しました。

県内外からの応募者135人の中から選ばれた4人のお嬢さん、写真右から

智子さん (和歌山市)
眞由子さん (和歌山市)
美佐みささん (和歌山市)
香朱美さん (和歌山市)

来年の6月30日まで、イベントへの参加や各地への表敬訪問など世界リゾート博のPR活動をしていただきます。

キャンペーンレディのみなさん頑張ってください。



NEWS

「おくとろ公園」でリフレッシュ

全国唯一の飛地の村、北山村で「おくとろ公園」とまわりを一周する「マイロード」がこのほど完成しました。

昭和63年度から5カ年継続事業で進めてきたもので、公園内には、オートキャンプ場、バンガロー、テニスコート、多目的グラウンド、しゃくなげ園、焼肉ハウスなどの施設が整っています。

また、すぐ前に広がる小森ダム湖では、ルアーフィッシングを楽しむこともでき、売店では特産品じゃばらの加工品や木工品などを販売しています。

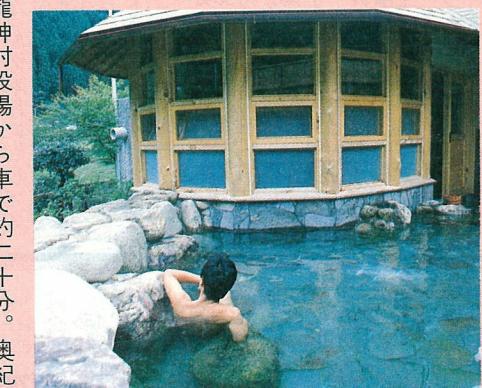
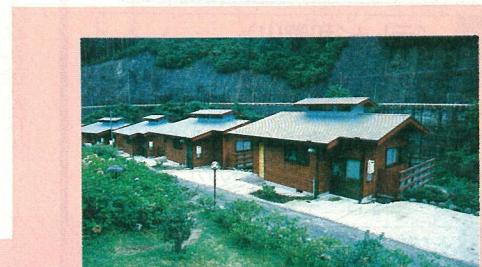
豊かな緑と澄んだ空気の中、リフレッシュをはかるのに最適ですね。

(北山村)

龍神村役場から車で約二十分。奥紀州グリーンランドに露天風呂がオープンしました。「龍の里露天風呂」と名付けられたこの露天風呂は、龍神村がその名に因んだ「龍の里づくり」の一環として建設したもの。脱衣場、内湯は木造りで、すがすがしい香りが露天風呂にも漂い、山々の緑や日高川のせせらぎとともに、湯につかる人的心を和ませてくれます。

同グリーンランド内には、昨夏完成した木造りの山荘「ログコテージ木の郷」もあり、ゆったりとした気分を満喫できます。

(龍神村)



「龍の里」でごゆっくり

ふるさとの知識

念仏説いて全国行脚 徳本上人

「南無阿弥陀佛
南無阿弥陀佛」

徳本上人は、宗派や身分などにとらわれず、念仏を唱えさえすれば極楽往生できるとい



徳本上人誕生碑



光と風を贈ります

世界リゾート博第1期 キャンペーンレディ決定

「ふるさと和歌山県の代表として、明るく、さわやかに、光と風を感じていただけるキャンペーンを展開して参ります」

決意の言葉のとおり、明るく、さわやかな「世界リゾート博」第1期キャンペーンレディが誕生しました。

県内外からの応募者135人の中から選ばれた4人のお嬢さん、写真右から

智子さん (和歌山市)
眞由子さん (和歌山市)
美佐みささん (和歌山市)
香朱美さん (和歌山市)

来年の6月30日まで、イベントへの参加や各地への表敬訪問など世界リゾート博のPR活動をしていただきます。

キャンペーンレディのみなさん頑張ってください。

う思想を徹底した僧であった。

宝暦八年(一七五八)日高郡志賀村(現・日高町)に生まれた上人は、幼少の頃、人の死を目の当たりにし、無常を思い念仏を唱えるようになつたという。

九歳にして出家を望んだがかなわず、念願の仏門入りを果たすのは二十六歳のときだった。自らの心身を磨くため、一日に麦粉一合だけの食事で修行を重ねた上人は、念仏を説いて全国行脚を続ける。その姿に、人々は次第に信仰心を目覚めさせ、彼を中心とするようになつていった。文化九年(一八二二)橿原(和歌山市)の總持寺で行つた説教には、数万人の群衆が集まつたほどであったといふ。

その後、江戸小石川の一行院で布教を続けていたが、文政元年(一八一八)病に倒れ、六十一年の生涯を閉じる。臨終に際し、上人は弟子たちに「私の一生を問われたら、四歳の時から六十一歳の今日まで、一日もかかさず念仏を唱え続けたと答えるよ」といったという。正に、念仏一筋の人生であった。

人によつてこの順序はさまざまですが、皆さんいかがでしょうか。

私は県庁は九月から週五日制となり、二日間の休日の過ごし方をあらためて考えさせられています。先日も知事から「何かボランティアとか、地域のお役にたてるような過ごし方を考えなさい」と訓辞を受けたばかり。いろいろと考えさせられる秋でもあります。

リゾート博開催まであと一年半余り。力

タカナが多く申し訳ありません。